



充実の前期終了→集大成の後期へ始動

4月からの半年間、生徒たちの頑張りにより、様々な場面で南中生の活躍する場面を見ることができました。学習や行事、部活動等を通じた生徒一人一人の成長はもちろん、学校生活を共に送り、経験を共有し積み重ねてきたことで、学校全体としても大きな成長が感じられました。こうしたことが、5日(土)に開催された南中祭の大成功につながっています。明るく前向きな3年生がリーダーシップをとり、学校全体が一つになって、素晴らしい時間を過ごすことができました。

充実の前期を終え、今日から今年度をまとめ上げる時期となる後期に入ります。個人としても集団としても成長を実感し、それぞれの目標を達成できるように、職員一同力を尽くして参ります。引き続き、保護者及び地域の皆様の温かいご指導、ご支援、ご協力の程をよろしくお願いたします。

後期始業式 校長あいさつ

今日から後期が始まります。前期同様、授業や学校行事、部活動などにおいて、様々な考えを出し合いながら、最終的には学年、学級、チームで目指す方向を一つにして取り組んでほしいと思います。

さて、後期の大きな行事として約2週間後に合唱コンクールがあります。発表の順番がきまり、最後の仕上げというところでしょうか。担当の佐藤美香先生によると、来週から南中出身のボイストレーナーをお迎えして、各学級の合唱のレベルをより高めていくということを聞いています。合唱コンクールでは、感動して涙を流してくれる保護者もいらっしゃいます。学級全員が指揮者を見て、歌詞に秘められた思いを表情豊かに心を一つにして真剣に歌っている姿は、多くの人に感動を与えるものです。また、それができるのが南中生です。現在練習している曲を、残りの期間でどのように創り上げ、表現するのか、互いに建設的な意見を出し合いながら、コンクール当日は、素晴らしいハーモニーを奏でてほしいと思います。

また、後期は全校生徒にとって、自分の可能性をさらに広げる期間であり、次のステージへの準備段階になります。3年生は、高校入試が待ち構えています。約1ヶ月後には進路決定につながる三者面談を予定しています。受験勉強は団体戦。入試当日は個人戦と言われています。皆さんの真の力が試される時が近づいてきました。これまで最上級生として立派な姿で学校をリードしてきた皆さんです。先輩たちが乗り越えてきた試練を皆さんも必ず乗り越えることができると信じています。2年生は、後期生徒会をはじめとして、学年全体が南中をリードする立場になります。2年生は、今年になってから何事も前向きに挑戦する生徒が増えてきたように思います。授業中における表現力や話合いの質が高まってきているし、部活動における頑張りも結果となって見えてきました。今後も、南中祭で披露した「わらび座ソーラン」のように、みんなで一致団結して南中を引っ張っていくんだという「率先垂範」の姿勢に期待しています。最初は、躊躇している仲間がいるかもしれませんが、でも、「まずやってみよう」と仲間を鼓舞して一緒に引っ張ってくれる、そんな学年集団であってほしいと思います。1年生は、授業や部活動など学校生活にも慣れてきました。6月と9月に南中を訪問した市教育委員会の皆さんからは、「6月より自信をもって発表する生徒が増え、表情が豊かになってきた」と褒められました。また、部活動の中では、2年生と一緒にチームを支え努力している生徒が増えてきたように思います。来年4月には、後輩が入学してきます。全員が中堅学年としての自覚をもった生活と行動が求められます。

そう考えると、後期、全校生徒の皆さんには「CCR」を意識した学校生活を送ってほしいと思います。「CCR」とは、「Challenge (チャレンジ) のC」、「Connection (コネクション) のC」、「Reflection (リフレクション) のR」です。

一つ目の「チャレンジ」には、「挑戦」という意味があります。自分が今以上に成長するため、一つの目標を達成するために、新たに自分で考えたことや決めたことなどを、まず挑戦してみることです。二つ目の「コネクション」には、「つながり」という意味があります。自分の考えだけでなく、仲間や先生方とつながり、その見方や考え方を参考にしながら、自分が挑戦していることに工夫を加えたり、改善したりしながら、その質を高めてほしいです。三つ目